

社員全員にXmas ケーキ1 ホールをプレゼント

毎年12月24日に、クリスマスケーキ（1ホール）を社員全員にプレゼントしています。以前は忘年会をしていましたが、忙しい主婦にとってみれば、クリスマスに家族一緒にケーキを食べる方が嬉しいだろうと思ったからです。その日は休みなのに、ケーキを受け取るために出社する社員もいます。それほどまで楽しみにしてくれているかと思うと、とても嬉しいです。また、ご家族も「いい会社だね。お母さんの頑張りを認めてくれているんだね」と喜ばれます。

こだわりは、社長、社員、パートまで、みんな同じケーキということ。「いろんな立場があっても一緒に働く仲間」という気持ちを伝えたいと思います。

「不器用に頑張る」ことの大切さ

大学時代、必修科目を落として留年しました。授業には全部出席して、自分でも頑張りましたが、試験後、先生から呼びだしを受けました。緊張して伺うと、先生は、「君のことはよくみているよ。自分では気づいていないかもしれないが、君の長所は『不器用』ということだ。そのことにしっかりと向き合ってほしい、そのためなら、1年の遠回りは無駄ではないよ」と言われました。結果、留年となりましたが、2度目の4年生は、時間の余裕もあったので、大学院の入試とフランスへの交換留学生の試験にチャレンジ。どちらも合格。「不器用に頑張った」成果だと思います。

今、仕事に対しても、策を弄さず、要領よくなくても、愚直に頑張ろうと思えるのは、このときの経験があったからこそです。

「人にやさしく、仕事に厳しく」

住友金属で約3年間、働きました。「人にやさしく、仕事に厳しい」会社でした。退職直前の宿泊研修はコストの高い研修であることはわかっていたので、事前に辞退を申し出ると、人事課長は「きっと、君の将来に役立つから受けなさい」と言われました。びっくりしましたが、ありがたかったです。

その研修で「従来、製造現場はブルーカラーの仕事の効率化に注力してきたが、これからはホワイトカラーの効率が問われる。そのためには電子メールをしっかりと使いこなせるように」と言われました。1995年時点での、このアドバイスはとてありがたかったです。その後、オンラインショップを始める上でこのアドバイスが基礎になっています。